

プログラム

3月23日(土)

第1会場 (3F 国際会議室)

8:30~9:30

教育講演2

座長：大関 覚 (レイクタウン整形外科病院)

- 2-EL-1 Pilon 骨折に対する私の治療戦略
～ Kesagake approach を中心に～ 53
衣笠 清人 (総合病院回生病院 整形外科)

特別企画3

9:35~10:45

国際貢献シンポジウム

座長：土井 一輝 (小郡第一総合病院 整形外科)

- 2-SP-1 手外科・マイクロサージャリー研修病院の現況と問題点 46
土井 一輝 (小郡第一総合病院 整形外科)
- 2-SP-2 Impacts of globalization in Japanese educational system on the academic career of international students, prospect of foreign student completed PhD in Japan 47
Hamidullah Salimi (Osaka Metropolitan University, Graduate School of Medicine)
- 2-SP-3 アフガニスタンでの医療支援・留学生支援の経験から学んだこと 48
寺井 秀富 (大阪公立大学大学院医学研究科 整形外科学)
- 2-SP-4 International communication and education on medicine and experiences from Japan 49
Thepparat Kanchanathepsak
(Department of Orthopaedics Faculty of Medicine Ramathibodi Hospital, Mahidol University)
- 2-SP-5 イラクへの医療支援を続けて 20 年 50
小野 万里子 (NPO法人セイブ・イラクチルドレン・名古屋/愛知県弁護士会)
- 2-SP-6 日本での小児心臓外科研修について 51
Laith Mohammed Ahmed (Mosul Center for Cardiology and Cardiac Surgery)
- 2-SP-7 日本での脳神経外科研修について 51
Aous Mohammadthabit Qasim (Ib-Sina Hospital Department of Neurosurgery)

温故創新セミナー3

10:50~11:50 共催：久光製薬株式会社
座長：日高 典昭（大阪市立総合医療センター）

2-OSS-1 四肢外傷再建における組織延長とマイクロサージャリー

融合手術 67
五谷 寛之（大阪掖済会病院 手外科外傷マイクロサージャリーセンター）

温故創新セミナー4

12:35~13:35 マイクロサージャリーにおける針付縫合糸の歴史と発展
共催：株式会社河野製作所
座長：五谷 寛之（大阪掖済会病院 手外科外傷マイクロサージャリーセンター）

2-OSS-2 日本のマイクロサージャリーにおけるマイクロ縫合糸の

開発と発展 68
五谷 寛之（大阪掖済会病院 手外科外傷マイクロサージャリーセンター）

2-OSS-3 マイクロサージャリーにおける針付縫合糸の役割 69

深沢 克康（関東労災病院整形外科切断指再接着・手の外科センター）

教育講演3

13:40~14:40 座長：五谷 寛之（大阪掖済会病院 手外科外傷マイクロサージャリーセンター）

2-EL-2 先天異常手における手指の再建 - Making digits - 54

川端 秀彦（南大阪小児リハビリテーション病院 整形外科）

教育講演4

14:45~15:45 座長：寺浦 英俊（東住吉森本病院 整形外科）

2-EL-3 難治性肘関節周囲骨折の治療戦略 55

今谷 潤也（岡山済生会総合病院 整形外科）

教育講演5

15:50~16:50 四肢再建の極意
座長：山崎 修司（富士整形外科病院 整形外科）

2-EL-4 下肢難治骨折に対するプレートによる四肢再建の実際 56

野田 知之（川崎医科大学 運動器外傷・再建学）

2-EL-5 髄内釘を駆使した四肢骨折再建 ～下肢編～ 57

最上 敦彦（順天堂大学医学部附属静岡病院 整形外科）

16:50~17:00 閉会の辞・次期会長挨拶

第2会場 (4F 401+402)

ベストケース・ベストセーブ7

8:30~9:40

マスケレ法による四肢再建

座長：渡部 欣忍 (帝京大学医学部 整形外科学講座)

- 2-2-01** 人工骨を併用した Masquelet 法による感染性偽関節の治療 … 110
渡部 欣忍 (帝京大学医学部 整形外科学講座)
- 2-2-02** 骨欠損を伴う大腿骨遠位部開放骨折を CLAP 併用
Masquelet 法で骨再建した 1 例 …………… 111
布目 愛紗 (東京都立墨東病院 高度救命救急センター)
- 2-2-03** Masquelet 法とイリザロフ創外固定器を用いて治療した
足関節固定の 1 例 …………… 112
鈴木 啓介 (大阪市立総合医療センター 救命救急部・外傷センター)
- 2-2-04** 人工骨のみの Masquelet 法で治療した上腕骨遠位骨幹部
骨折の 1 例：骨リモデリングの特性…………… 113
藤原 達司 (大阪急性期総合医療センター 整形外科・四肢外傷治療センター)
- 2-2-05** 大腿骨骨幹部骨髓炎に生じた病的骨折に対して
マスケレ法を行う際の工夫 …………… 114
貝澤 幸俊 (関西電力病院 整形外科)
- 2-2-06** 骨欠損の大きい下腿 Gustilo3B に対して
骨片温存 Masquelet 法を用いて再建した 1 例 …………… 115
善家 雄吉 (産業医科大学病院 外傷再建センター)

ベストケース・ベストセーブ8

9:40~10:50

一時的創外固定

座長：前川 尚宜 (奈良県立医科大学 救急医学講座)

- 2-2-07** 一時創外固定をよりうまく使うために考えておくべきこと …… 116
前川 尚宜 (奈良県立医科大学 救急医学講座)
- 2-2-08** 脛骨高原骨折における一時的創外固定術の経験 …………… 117
光石 直史 (彦根市立病院 整形外科)
- 2-2-09** 当院における骨盤輪骨折の疫学と治療法の動向
—12年前と現在の比較—…………… 118
松垣 亨 (久留米大学病院 高度救命救急センター)

2-2-10	有茎腹壁皮弁の術後管理に骨盤上肢間創外固定を併用した6例	119
	岡田 祥明 (産業医科大学病院 外傷再建センター)	
2-2-11	演題取り下げ	
2-2-12	下肢骨折に対する一時的創外固定後の感染、偽関節に關与する因子の解析	121
	河本 昌雄 (堺市立総合医療センター 整形外科)	
巻き爪ランチョンワークショップ 11:50~12:35 座長: 八木 寛久 (大阪掖済会病院 整形外科)		
2-WS-1	爪変形をどう治すか	62
	塩之谷 香 (塩之谷整形外科)	
ベストケース・ベストセーブ9 12:35~13:45 四肢変形矯正 座長: 柏木 直也 (水野記念病院 整形外科)		
2-2-13	小児下肢変形に対する治療戦略	122
	柏木 直也 (社会医療法人社団昭愛会 水野記念病院)	
2-2-14	左下腿骨開放骨折 Gustilo III C 後の高度尖足に対する治療	123
	程原 誠 (東京都立広尾病院)	
2-2-15	骨延長と輪状靭帯再建を行った小児陳旧性 Monteggia 骨折の一例	124
	安田 知弘 (昭和大学藤が丘病院 整形外科)	
2-2-16	球関節状変形した膝関節に続発した左股関節症の段階的治療	125
	棚橋 宏行 (岐阜県総合医療センター 整形外科)	
2-2-17	直角に近い大腿骨変形・短縮・尖足を創外固定で治療した自閉症をもつ Ollier 病の 1 例	126
	下川 寛右 (金沢大学附属病院 整形外科)	
2-2-18	足関節骨折術後変形治癒に対し矯正骨切り術を施行した 1 例	127
	米津 大貴 (総合南東北病院 外傷センター)	

13:55~14:55

コメディカルセッションアワード1

座長：高橋 光彦（兵庫県立リハビリテーション中央病院 整形外科）

- 2-2-19 チーム医療で行う創外固定治療**…………… 128
高橋 光彦（兵庫県立リハビリテーション中央病院）
- 2-2-20 肘関節に創外固定術を行った高齢患者のセルフケア
向上に向けた看護**…………… 129
松井 優花（堺市立総合医療センター 看護局）
- 2-2-21 TEA 後の異所性骨化に対する観血的授動術後に漸次静的
装具療法を実施した 1 症例**…………… 130
榎田 臣弘（岐阜県総合医療センター 中央リハビリテーション部）
- 2-2-22 手術室での指用イリザロフ創外固定器の管理方法の見直しと
効率的な運用**…………… 131
小西 涼子（大阪掖済会病院 手術室）
- 2-2-23 創外固定装着患者に対するチーム医療での外来看護師の役割** …… 132
山崎 真由美（大阪掖済会病院 看護部）

コメディカルセッションアワード2

15:05~16:05

座長：大野 一幸

（地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター リハビリテーション科）

- 2-2-24 運動器再建におけるリハビリテーション治療と看護の役割**…… 133
大野 一幸（地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター リハビリテーション科）
- 2-2-25 切断再接着の術後の看護における当院の取り組み**…………… 134
永田 薫（関東労災病院 看護部）
- 2-2-26 肘関節授動術後のリハビリテーションに Galaxy 創外固定器を
使用した 1 例**…………… 135
内屋 純（岐阜県総合医療センター 中央リハビリテーション部）
- 2-2-27 指用イリザロフを装着した患者への創外固定器管理指導の
ための病棟看護師の取り組み**…………… 136
長井 美如（大阪掖済会病院 看護部）
- 2-2-28 3 指切断に対する指骨延長と屈曲骨切り併用手術による
機能回復ーリハビリの役割ー**…………… 137
上野 有毅（大阪掖済会病院 手外科外傷マイクロサージャリーセンター）

第3会場 (4F 403)

一般演題5

大腿・骨盤

8:30~9:30

座長：加藤 成隆（福島県立医科大学外傷学講座）

野澤 大輔（筑波大学医学医療系整形外科）

- 2-3-01 寛骨臼骨折術後二期的 THA を施行した 3 例…………… 174
安原 良典（済生会千里病院 整形外科）
- 2-3-02 大腿骨遠位広範囲骨欠損に対する
Induced membrane technique の問題…………… 175
川前 恵史（福島県立医科大学 外傷再建学講座）
- 2-3-03 Miserable Malalignment Syndrome に対して
変形矯正術を施行した 2 例…………… 176
片岡 浩之（関西医科大学附属病院 整形外科）
- 2-3-04 当院における Vancouver 分類 type B2 のセメントレスステム
周囲骨折に対する治療経験…………… 177
大平 千夏（東住吉森本病院 整形外科）
- 2-3-05 骨盤輪骨折に対する確定的創外固定と
経皮的スクリュー固定の比較…………… 178
岩本 在央（京都第二赤十字病院）
- 2-3-06 大腿骨近位部骨折手術症例の入院中の食物形態の
変化について…………… 179
大野 一幸（地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター リハビリテーション科）

一般演題6

足・足関節

9:40~10:30

座長：石井 朝夫（東京医科大学茨城医療センター 整形外科）

嶋 洋明（大阪医科薬科大学整形外科学教室）

- 2-3-07 骨移動術と Bashir 法にて治療した Gusilo type III C
足関節開放骨折後骨髄炎の 1 例…………… 180
田中 祥貴（大阪掖済会病院 手外科外傷マイクロサージャリーセンター）
- 2-3-08 高齢者足関節脆弱性骨折に対する Ilizarov 創外固定における
早期荷重による矯正損失…………… 181
野坂 光司（秋田大学 整形外科）

- 2-3-09 足関節周囲に対するリング型創外固定術後患者の歩行特性…… 182
渡邊 基起 (秋田大学医学部附属病院 リハビリテーション部)
- 2-3-10 足部骨折に対する創外固定 …………… 183
高木 基行 (福島県立医科大学 外傷学講座 / 総合南東北病院 外傷センター)
- 2-3-11 やぐらいらすいで挙上後に予期せぬ足関節前方亜脱臼を
生じた 2 例 …………… 184
大原 建 (船橋市立医療センター)

一般演題 7

小児

10:40~11:20 座長: 田村 太資 (大阪母子医療センター リハビリテーション科)
岡 佳伸 (京都市立医科大学大学院医学研究科運動器機能再生外科学
(整形外科学教室))

- 2-3-12 小児期の橈骨遠位端骨折後変形による手関節部痛に対して
イリザロフ法で矯正した 1 例 …………… 185
大森 直樹 (宇治武田病院 小児運動器・イリザロフセンター)
- 2-3-13 小児上腕骨顆上骨折に対する外側刺入方法である
ジャンクション法と cross 法の比較 …………… 186
安田 知弘 (昭和大学藤が丘病院 整形外科)
- 2-3-14 小児大腿骨骨幹部骨折に対する ESIN 固定に一時的創外固定を
併用した 1 例 …………… 187
土井 武 (岡山済生会総合病院 整形外科)
- 2-3-15 イリザロフ創外固定とプレートを併用して治療した
小児脛腓骨遠位骨幹部骨折の 1 例 …………… 188
中川 誉之 (都立墨東病院 / 国立成育医療研究センター 整形外科)

主題

下腿・膝・難治症例

12:35~13:35 座長: 山崎 修司 (医療法人社団英志会 富士整形外科病院)
垣花 昌隆 (獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科)

- 2-3-16 外反膝を伴う内反型変形性足関節症に対して創外固定を用いて
一期的に矯正した 1 例…………… 154
伏谷 由基 (金沢大学附属病院 整形外科)

2-3-17	外傷性末期膝関節症に対する下肢アライメント矯正で 早期線維軟骨生成を確認できた 1 例	155
	山崎 修司 (富士整形外科病院)	
2-3-18	膝蓋骨低位を呈する反張膝症例に対して緩徐変形矯正を 施行した一例	156
	間島 直彦 (愛媛大学大学院医学系研究科 地域医療再生学)	
2-3-19	脛腓骨遠位端骨折術後偽関節に対して Ilizarov 創外固定器を 用いて救済した一例	157
	宮島 佑介 (大阪公立大学 整形外科)	
2-3-20	10cm を超える骨欠損に対して髓内釘併用 Masquelet 法に より再建した脛骨開放骨折の 2 例	158
	奥村 弥 (京都第一赤十字病院 整形外科)	

一般演題 8

骨欠損・感染

13:45~14:55

座長: 高村 和幸 (福岡市立こども病院整形・脊椎外科)

大塚 和孝 (長崎記念病院整形外科)

2-3-21	骨欠損を有する鎖骨感染性偽関節に対して感染制御と 解剖学的再建を達成した一例	189
	藤井 俊 (京都府立医大大学院 運動器機能再生外科学 (整形外科))	
2-3-22	上肢骨髄炎に対する創外固定の使用経験	190
	大谷 和裕 (近畿大学 整形外科、近畿大学病院 運動器外傷センター)	
2-3-23	肘頭骨折後の慢性骨髄炎に対しジャンクション創外固定を 用いた 1 例	191
	荻原 哲 (近畿大学病院 整形外科)	
2-3-24	犬咬傷後の骨欠損を伴う小指末節骨骨髄炎に対して Masquelet 法で治療した 1 例	192
	辻本 淳 (JR 大阪鉄道病院 整形外科)	
2-3-25	現代医療における Papineau 法の適応について	193
	大野 一幸 (地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター リハビリテーション科)	
2-3-26	巨大骨欠損を生じた下腿骨髄炎にヒト脱灰骨基質を 用いて Masquelet 法を施行した一例	194
	松本 匡洋 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター)	

- 2-3-27 切除した腓骨を tissue banking し骨再建に利用し
Bone transport 法を行なった 1 例…………… 195
井垣 龍 (昭和大学藤が丘病院)

一般演題9

15:05~15:55 **組織欠損・マイクロ上肢**
座長：安田 知弘 (昭和大学藤が丘病院 整形外科)
下江 隆司 (和歌山県立医科大学 整形外科)

- 2-3-28 再接着が困難であった母指切断に対する指長温存の試み…………… 196
土田 徹 (熊本労災病院)

- 2-3-29 固有指 PIP 関節以遠の重度外傷に対する早期血管柄付き
遊離第 2 足趾移植術…………… 197
横井 卓哉 (清恵会病院 整形外科・手外科マイクロサージャリーセンター)

- 2-3-30 手部デグロービング損傷軟部再建後の指間形成に創外固定は
有効である…………… 198
小川 高志 (湘南鎌倉総合病院 外傷センター)

- 2-3-31 COVID-19 合併患者の前腕不全切断の再接着例…………… 199
加藤 智哉 (大阪掖済会病院 手外科・外傷マイクロサージャリーセンター)

- 2-3-32 両上腕不全切断に対する治療経験…………… 200
加藤 智哉 (大阪掖済会病院 手外科・外傷マイクロサージャリーセンター)